

2024年度一般社団法人四国ツーリズム創造機構 理事会・社員総会・全体会議を開催

(ブランディング)

6月10日(月)、当機構の2024年度理事会・社員総会・全体会議を開催いたしました。

理事会と社員総会では、共通の議案として「2023年度事業報告(案)及び決算報告(案)」(第1号議案)と「2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)」(第2号議案)について、また、理事会では、加えて、「会員の新規入会(案)」(第3号議案)について事務局から説明を行った後、ご審議のうえ、原案のとおり、理事及び社員の皆さまからご承認をいただきました。

引き続き開催した全体会議では、賛助会員の皆さまをお迎えて、上記、理事会と社員総会の議決を踏まえて、今年度の役員体制と「2023年度事業報告及び決算報告」についてご報告するとともに、「2024年度事業計画(案)」(第1号議案)についてお諮りし、原案のとおりご承認いただきました。

会議終了後には、会員の皆さま相互の交流の場としてレセプションを開催し、香川県知事 池田 豊人 様にも、ご来賓としてご臨席いただきました。

当機構では、皆さまからご承認いただきました事業計画に基づいて、引き続き、四国ブランドの確立と四国への誘客促進に努めてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

(実施日) 2024年6月10日(月) (実施場所) JRホテルクレメント高松(香川県高松市)
(出席者) 105団体(来賓: 四国運輸局長 河野 順 様、香川県知事 池田 豊人 様)
(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長 ほか12名



<会議の様子>



<レセプションの様子>



<池田香川県知事の挨拶>

2024年度事業計画をプレスリリース

(ブランディング)

6月18日(火)、全体会議において会員の皆さまからご承認いただきました「2024年度事業計画」を各種メディアに向けてプレスリリース(※)しました。

サンポートホール高松で開催した記者会見では、8社9名の記者の皆さまにご出席いただき、事務局から事業計画の説明を行いました。質疑応答では、「持続可能な観光」や「アドベンチャートラベル」に関する質問が多く、その関心の高さを伺えました。

(実施日時) 2024年6月18日(火) 10:30~11:30
(実施場所) サンポートホール高松63会議室(香川県高松市)
(出席者) RSK山陽放送、香川経済レポート社、高知新聞社
交通新聞社、四国新聞社、徳島新聞社
日本経済新聞社、読売新聞社 計8社
(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長
松本統括副本部長、神野副本部長 ほか4名

※記者会見のほか、PRTIMESを通じて各種メディアに発信。



<記者会見の様子>

令和6年度四国ブロック観光情報交換会を開催

(マーケティング)

6月6日(木)、東京都千代田区にある都道府県会館で、四国ブロック物産斡旋協議会(※)と当機構の共同で「令和6年度四国ブロック観光情報交換会」を開催しました。

情報交換会では、都内のメディア関係者の方々にお集まりいただき、四国の最新トピックスや各団体の取り組みなどの紹介を行いました。当機構からは、四国観光・旅アプリ「しこくり」のPRのほか、四国「持続可能な観光」推進ネットワークの取り組みやアドベンチャートラベル、大阪・関西万博に向けた取り組みを紹介しました。引き続き、同協議会と連携して、東京や関東圏に向けた情報発信に努めてまいります。

(実施日時) 2024年6月6日(木) 10:00~12:00

(実施場所) 都道府県会館(東京都千代田区)

(メディア出席者) 都内のマスメディア等24社34名

※ほか、資料提供のみ5社

(機構参加者) 別宮マネジャー

※四国ブロック物産斡旋協議会は、四国4県、四国旅客鉄道(株)本州四国連絡高速道路(株)の東京事務所から構成される協議会



<当機構プレゼンの様子>

ANA Team X 事業説明会・意見交換会に出席

(マーケティング)

6月11日(火)、大阪で開催された関西・中国・四国エリアを対象とする「ANA Team X 事業説明会・意見交換会」に出席しました。

全日本空輸(株)によると、ANAマイレージ会員数は、現在約4,200万人となり、4つの機能(AMCプログラム、決済、データベースマーケティング、顧客コミュニケーション・チャンネル)の提供と3つの事業(旅行、ライブ、BtoBソリューション)等、会員の皆さまの満足度を高める取り組みを行っているとのこと。

説明会後に開催された意見交換会では、関西、中国、四国の各施設の皆さまと交流を図りました。

(開催日時) 2024年6月11日(火) 16:00~19:00

(開催場所) ANAクラウンプラザホテル(大阪府大阪市)

(機構参加者) 桑村本部長、竹内チームマネジャー



<事業説明会の様子>

2024年度四国JALパック会 定期総会・情報交換会に出席

(マーケティング)

6月26日(水)、徳島県で開催された「四国JALパック会 定期総会・情報交換会」に出席しました。

定期総会では、役員改選が行われ、これまで4期8年と会長を務められた藤本 正孝 様(城西館会長)が退任され、後任として、宮崎 光彦 様(宝荘ホテル 道後御湯社長)が新会長に就任されました。

日本航空(株)と当機構で4月から実施しているタイアップ企画「JAL麗らか四国キャンペーン」も20周年を迎えておりますが、これからの夏場商戦や秋の行楽シーズンに向けて、会員の皆さまと連携して、より一層四国への誘客促進を図ってまいります。

次ページへ続く

(開催日) 2024年6月26日(水)
(開催場所) 阿波観光ホテル(徳島県徳島市)
(機構参加者) 桑村本部長、松本チームマネジャー



<定期総会：退任された藤本正孝前会長>



<意見交換会：就任された宮崎光彦新会長>

四国コンシェルジュデスク2023年度事業実績報告会を実施

(マーケティング)

6月28日(金)、高松市で「四国コンシェルジュデスク2023年度事業実績報告会」を開催しました。「四国コンシェルジュデスク」とは、外国人旅行者からの、四国旅行の「旅マエ」「旅ナカ」におけるお問い合わせに英語で対応するために、当機構が2020年から設置している問い合わせ窓口です。なお、今年度からは、「四国インフォメーションデスク」に名称を変更し、継続して設置しております。

報告会では、2023年度の窓口の運営を委託しておりました(株) Englishbizの グルネワールド マーク 様(同社代表取締役社長)と グルネワールド 和世 様 から、実績についてご報告いただきました。

昨年度の傾向としては、これまでと同様、「遍路」や「宿泊関連」の問い合わせが多い一方で、従来と比べて内容が、より具体的で詳細になっているとのこと。

とりわけ、「遍路」に関していえば、「遍路」単独の内容から、「『遍路』+『自然体験』」といった組み合わせた内容での問い合わせが増えており、「遍路」に興味を持つ方々の嗜好が変化してきていると報告がありました。

また、旅行形態では、個人手配のものが8割を超えており、予約方法もPCやスマホ・タブレットを利用したWEB経由のものが8割を超えているとのこと。このような変化から、WEBサイト上でいかに四国を検索してもらえるか、そして、検索で見つけてもらえるかといった工夫(UI/UX)がより重要となってくることについて、データや具体例を示しながら解説とご提案をいただきました。

出席者の皆さまからも多くの質問があり、その関心の高さが伺えるとともに、多くの示唆に富んだ報告会となりました。

(実施日時) 2024年6月28日(金) 14:00~15:30
(実施場所) サポートホール高松62会議室(香川県高松市)
(出席者) 機構会員等16団体23名(機構職員除く)
(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長 ほか11名



<報告会の様子①>



<報告会の様子②>

JALモニターツアー「四国まんなか千年ものがたり」に参加

(その他)

6月5日(水)、日本航空(株)高松支店が実施したJALモニターツアー「四国まんなか千年ものがたり」に参加しました。ツアーでは、多度津駅から大歩危駅の間を、観光列車「四国まんなか千年ものがたり」に乗車しながら、JAL機内誌の配布や、ふるさとアンバサダーによる車内アナウンスがプラスされるなど、普段のものがたり列車とは一味違う雰囲気の中運行されました。途中の通過駅や終点の大歩危駅で地元の方々からの温かい歓迎も受けるなど、改めて観光列車の魅力を感じられるものとなりました。

(開催日) 2024年6月5日(水)

(開催場所) 多度津駅(香川県) → 大歩危駅(徳島県)
観光列車「四国まんなか千年ものがたり」に乗車

(機構参加者) 松本統括副本部長、大上マネジャー



<歓迎の様子>

大歩危・祖谷の未来を語る夕べに出席

(その他)

6月17日(月)、三好市で開催された、大歩危・祖谷いってみる会主催の「大歩危・祖谷の未来を語る夕べ」に出席しました。同会は、地域の観光振興を謳って活動する、今年で設立24年を迎える団体です。

今回の集いでは、新しい代表理事の就任などの新役員体制の紹介と、今後のビジョンの説明がありました。

(開催日) 2024年6月17日(月) (開催場所) 新祖谷温泉 ホテルかずら橋(徳島県三好市)

(機構参加者) 半井代表理事(※)、桑村本部長 ※四国旅客鉄道(株)取締役会長として参加



<観光庁 田端参与>



<観光庁 河田課長>



<高井三好市長>



<半井代表理事>



<植田前会長>



<大平新会長>

(一財) 本州四国連絡高速道路協会 定時評議会に出席

(その他)

6月25日(火)、兵庫県で開催された(一財)本州四国連絡高速道路協会の「2024年度定時評議会」に出席しました。当機構は、せとうち観光推進機構とともに評議員として参加しています。

評議会では、3事業(「1.利用者の便益事業」「2.地域社会の発展に寄与する事業」「3.交通安全事業」)について評議を行ったうえで、2024年度の事業計画と収支予算について審議し、承認となりました。

(開催日) 2024年6月25日(火)

(開催場所) 神戸三宮東急REIホテル(兵庫県神戸市)

(機構参加者) 桑村本部長



<評議会の様子>

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

昨年、観光立国推進閣僚会議で決定された「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」のなかで、「『デジタルノマド(※1)』の呼び込みのための制度環境整備」が挙げられており、訪日メディア「やまごころ」でも特集がされています。私自身も過去に短期間(2019年2月~2020年11月(※2))ではありますが、デジタルノマドとして、中国とベトナムを旅しておりましたので、今回は、自身の行動履歴(GoogleMAPなど)を元に、どのようにベトナムでデジタルノマドに至ったかなどについて、その時の行動や気づきなどを整理してみました。

私個人の経験にはなりますが、デジタルノマドの受入環境整備などの参考にいただければ幸いです。

※1 ITを活用して仕事をしながら旅をするというライフスタイルなどを指す。本稿では、国際的なリモートワーカーを指す。

※2 世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、ベトナムハノイ滞在中に予定を切り上げて帰国。

段階	認知・関心向上 旅行先として認知	比較・検討 旅先の候補地検討	予約・購入 旅先を計画し実行	体験・消費 現地を訪れる	再訪 旅行後、共有
	<ul style="list-style-type: none"> テレビ番組 友人の口コミ 	<ul style="list-style-type: none"> 個人ブログ 検索サイト 	<ul style="list-style-type: none"> 検索サイト OTA 	<ul style="list-style-type: none"> 検索サイト 	<ul style="list-style-type: none"> SNS
タッチポイントと行動	<p>たまたま観た動画でアジア旅行に興味</p> <p>現地の友人に相談しベトナムに決定</p>	<p>現地在住の日本人ブログを参考</p> <p>観光地候補を検討</p>	<p>グーグルフライトとホテルで各種比較</p> <p>各種手配</p>	<p>Wi-Fiとコンセントが完備しているカフェ</p> <p>ガイド付き1Dayツアーに参加</p>	<p>帰国後に思い出をシェア</p>
意識・感情	<ul style="list-style-type: none"> 新しい発見をしながら、仕事をしたい。 近場ではなく、どこか遠くへ。 遠くなら、友人に会える場所。 	<ul style="list-style-type: none"> ベースとなる拠点を探しながら、観光地も漠然と検索。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動(フライト)は安く、宿は居心地がいいところ(少し高くても良い)。 ローカルフードを食べたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事は、ゆっくり集中できるカフェがいい。 オフは、地元ならではのディープな体験がしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい体験(旅行)もできて、仕事も捗り充実した。

○今回、自身の体験を振り返ってみると、「比較・検討」から「体験・消費」のフェーズにおいて、インターネット検索を多用するなか、大部分でグローバルサイトを利用していただけに気が付きました。
⇒ 四国でも、外国人旅行者に対しては、店舗等の情報を店舗のHPだけではなく、GoogleMAPなどでも整備・拡充し、Web経由での予約導線等を意識していくことが有効・必要と考えられます。

○一方で、現地では体験できないものを探す際には、ネットよりも現地旅行会社(DMC)を活用しました。それは、現地ガイドなどのアテンドがある方が、よりディープなものを見つけ、体験できると思ったからです。
⇒ デジタルノマドにおいても、ディープな体験と現地ガイドの提供が重要になってくると考えられます。

機構では、2021年度にGoogleMAP活用セミナーを実施しましたが、今年度はガイド育成事業を実施して、インバウンド誘客に取り組んでまいります。

代表理事の主な動静

- 6月10日（月）理事会・社員総会・全体会議
- 14日（金）定例会議・推進会議（当機構の会議）
- 18日（火）記者会見（2024年度事業計画）
- 19日（水）四国新聞社からの取材
- 27日（木）定例会議・推進会議（当機構の会議）

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
ミュージカル 「坊ちゃん劇場版KANO」	坊ちゃん劇場	2023年4月1日（土） ～2025年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
「四国コンテンツ映像フェスタ2024」	四国総合通信局、四国情報通信懇談会	2024年6月20日（木） ～2025年2月 予定	https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/ （参考：前年度公式サイト）

7月以降の主な予定表

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マーケティング (国内)	<ul style="list-style-type: none"> ● 四国観光物産展（7月20～21日/大阪） ● 四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会議（7月1日/香川） 	<ul style="list-style-type: none"> ● GSTCトレーニング研修（8月19～21日/香川） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツーリズムEXPO（9月26～29日/東京） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 四国観光商談会（10月3日/東京） ● 四国観光商談会（10月9日/大阪） 		
マーケティング (国際)	<ul style="list-style-type: none"> ● 上海セミナー（7月3日/上海） ● 台湾商談会（7月9日/台湾） ● インバウンド課室長会議（7月18日/高松） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広州オンラインセミナー（8月22日/オンライン） ● シンガポールNATAS（8月16～18日/シンガポール） 	<ul style="list-style-type: none"> ● VJTM（9月26～28日/東京） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ATWS2024（10月7～10日/パナマ） 	<ul style="list-style-type: none"> ● FITフェア（11月8～10日/バンコク） 	
ブランディング	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光専門人材育成セミナー（7月30日/香川） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回意見交換会in高知（9月9日/高知） 				

（一社）四国ツーリズム創造機構

事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井

TEL：087-813-0431 FAX：087-813-0312

Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>

Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/>



SHIKOKUTOURISM